

飛鳥資料館夏期企画展のご紹介

「飛鳥 古寺巡礼」

平成20年8月1日（金）～8月31日（日）

（月曜日は休館、8月15日（金）は無料開館日）

今夏、当館では、飛鳥の古寺の「いま」を撮影した美しい写真と、発掘調査の成果をとおして古寺巡礼をお楽しみいただく展示を開催します。

現在、飛鳥には京都や奈良のような巨大な堂塔が建ち並ぶ大寺院はみられません。かつてこの地に建てられた寺々は、壮麗な伽藍を地中に秘めつつ、四季折々の景色のうつろいとともに、私たちに往時の歴史を偲ばせます。

飛鳥の地は、日本で最初に仏教が公式に伝えられ、花開いた場所です。崇峻元年（588）に飛鳥寺が建立され、その後も皇族や有力な豪族による寺院の造営が相次ぎました。『日本書紀』によれば、680年には京内に24の寺があったといいます。堅牢な瓦葺の屋根、高くそびえる塔、青丹に彩られた堂…最先端の建築様式による壮麗な伽藍が、飛鳥に建ち並んでいたのです。

都が飛鳥の地を離れた後も、寺々は法灯を守り伝えました。しかし、天災や争乱などでかつての壮麗な伽藍は失われて、地中に埋もれていきました。これらの寺院跡では、昭和31年の飛鳥寺の発掘以降、現在も発掘調査が続けられています。このような、地道な調査の結果、伽藍配置や建築技術、寺宝の数々などが明らかとなっていました。

夏の一日、飛鳥資料館の企画展を御覧いただき、古寺の風景にかつての伽藍の姿を思い重ねながら、古寺巡礼のひとときをお過ごしください。

（飛鳥資料館 西田紀子）



飛鳥寺発掘調査風景

■ 記 錄

埋蔵文化財担当者研修

○保存科学Ⅰ（無機質遺物）課程

平成20年5月13日～21日 6名

○保存科学Ⅱ（有機質遺物）課程

平成20年5月21日～29日 9名

○掘立柱建物・礎石建物遺構調査課程

平成20年6月9日～13日 13名

現地見学会・現地説明会

○飛鳥藤原第151次調査（甘櫻丘東麓遺跡）

平成20年3月29日（土）2,100名

○平城第429次調査（東方官衙地区）

平成20年3月30日（日）453名

○平城第431次（第一次大極殿院南面回廊）

平成20年6月7日（土）807名

藤原宮跡資料室展示

○速報展「藤原宮大極殿院南門出土土地鎮具」

平成20年3月18日（火）～4月18日（金）

飛鳥資料館 春期特別展

○「キトラ古墳壁画十二支－子・丑・寅－」

平成20年4月18日（金）～6月22日（日）

*キトラ古墳壁画「十二支」特別公開

平成20年5月9日（金）～25日（日）

平城宮跡資料館展示

○速報展「平城宮跡東院地区中枢部の調査」

平成20年4月22日（火）～5月25日（日）

木簡ひろば

2008年3月5日本簡に関する総合情報サイト「木簡ひろば」を開設しました。

<http://hiroba.nabunken.go.jp/index.html>

平城宮跡歴史文化講座（第5回）

（NPO平城宮跡サポートネットワークと共催）

平成20年5月18日（日）午後1時30分～

於：平城宮跡資料館講堂

「飛鳥から藤原・平城京へ」

寺崎保広 奈良大学教授

最近の本一員の著作から

○松井章『動物考古学－Fundamentals of

Zooarchaeology in Japan－』

京都大学学術出版会、2008年3月

○井上和人『日本古代都城制の研究－藤原京・平

城京の史的意義－』

吉川弘文館、2008年4月

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2008年6月